

平成29年度10月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成29年10月4日（水）午前11時00分～11時20分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ7社

会見内容

1. 話題提供（1項目）

1. 平成29年度釧路市洪水避難訓練の実施について（防災危機管理課）

- このたび初めてとなる、新釧路川の洪水災害を想定した洪水避難訓練を、12関係機関、参加人員約400名により、昭和地区で10月30日（月）に実施いたします。
- まず避難訓練では、浸水想定区域内の昭和地区から、避難所に設定した鳥取小学校と鳥取西小学校へ、徒歩または車両での避難を実施します。
- 避難訓練終了後、鳥取コミュニティセンターに会場を移して、参加住民のうち、主に男性住民の方々による、備蓄米を使った「炊き出し訓練」や、浸水防止のため、1つ約10kgの土のうを積み上げる「土のう積み訓練」、倒壊した建物から、下敷きになった人を住民が協力して救出する「救出救助訓練」を、みなさまに実際に体験していただきます。
- また、避難所開設・運営訓練や応急給水訓練など行うほか、弾道ミサイル落下時を想定した避難行動訓練も行います。
- なお、来年1月には、厳冬期の避難に焦点を当てた津波避難訓練の実施を予定しており、こちらにつきましては、詳細が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。

2. その他（2項目）

「釧路市まちづくり基本構想シンポジウム ～つながる まち・ひと・みらい～ の開催について （都市経営課）

- 現在、平成30年度からの10年間に目指す新たなまちづくりの指針として、「釧路市まちづくり基本構想」の策定を進めています。
- このたび、市民の皆さんとともに釧路市の目指すべきまちづくりについて考え、基本構想への理解を深めていただくため、市では、来る10月10日（火）に「釧路市まちづくり基本構想シンポジウム～つながる まち・ひと・みらい～」を開催いたします。

- 人口が減少する中でも、持続可能な地域を目指すためには、地域資源を効果的に活用する都市経営の視点が必要です。

新たに登載する「域内連関（いきないれんかん）」という言葉は、地域資源を最大限に生かすために、解決すべき課題や目標としてのテーマを共有し、行動することです。

- シンポジウムの内容といたしまして、プログラム前半の「報告」については、前 釧路公立大学学長で、基本構想の策定市民委員会 委員長としてご尽力いただいております、小磯 修二（こいそしゅうじ）釧路市顧問と私との対談形式により、「釧路市まちづくり基本構想の策定について」と題し、今後10年間の目指すべきまちづくりについて「域内連関」の考え方を中心に、皆さんにお伝えしていく予定です。

- 続いて、「釧路市のこれからのまちづくり～域内連関が築く開かれた信頼社会～」をテーマに、策定に携わった皆さんをお迎えし、パネルディスカッションを行います。

ここでは、パネリストとして、

- ・ 釧路市連合町内会の 西村 毅（にしむら つよし）会長、
- ・ 三ッ輪運輸株式会社 総務課の 畑 由規子（はた ゆきこ）課長、
- ・ 北海道教育大学 釧路校の 川前 あゆみ（かわまえ あゆみ）准教授、
- ・ 市民団体「クスロ」の 夏堀 めぐみ（なつぼり めぐみ）代表

の4名の市民委員会 委員に加え、

釧路信用金庫 経営企画部の 沼尻 智成（ぬまじり ともなり）さんにもパネリストとしてご登壇いただくこととしております。

釧路信用金庫から釧路市への派遣職員であった沼尻さんは、この9月まで、総合政策部 都市経営課 主任として、策定作業の実務を担当され、民間の発想を随所に生かしていただきました。

- 当日は、5名のパネリストから、これまでの感想や、それぞれのお立場からのまちづくりに対するご意見、「域内連関」の実践につながる取り組みなどを紹介いただきながら、地域を発展へとつなげる指針となる「釧路市まちづくり基本構想」を、ご来場の皆さんと共有する場にしたいと考えております。

- 多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしております。

2. 市立釧路図書館の一時閉館について

- 現在、北大通10丁目に整備をしている新図書館の開設に向けた引越し作業を行うため、図書館本館を9月30日（土）で一時閉館したところであります。

- 引越し作業は10月から来年1月までの4カ月間で行う予定であり、その間の本の貸出や予約、リクエストにつきましては、市内5カ所の分館、分室で受け付けを行います。

- 市民のみなさまには、広報くしろ9月号と10月号でお知らせしているほか、図書館や市のホームページ等にも掲載しており、ご不便をおかけすることの無いよう、周知に努めてまいります。
- なお、新図書館の開設は、来年2月3日（土）としており、2月の1カ月間を開設記念月間として、さまざまな行事を開催する予定です。詳細につきましては改めてお知らせする予定です。

3. 質問要旨

（質問）

- ・ 洪水避難訓練の際に、弾道ミサイル落下時を想定した避難行動訓練も行うとありますが、どのような訓練でしょうか。

（市長）

- ・ これはJアラートがなった時に、どのような行動をとるかという訓練です。国から示されているように、例えば窓から離れる、伏せるなどの行動を実際に行います。

（質問）

- ・ 実際に防災行政無線を使ってJアラートのサイレンを流しますか。

（防災危機管理監）

- ・ サイレンは鳴らしませんが、鳥取コミュニティセンターにいらっしゃる市民の皆さんに、サイレンが鳴ったと仮定して、実際に行動をとっていただきます。

（市長）

- ・ 各ご家庭でもどのような対応をしていただくかというものです。

（質問）

- ・ 初めて洪水避難訓練を行うということですが、これは洪水避難訓練自体ですか。それとも新釧路川を想定したものがということですか。

（市長）

- ・ 洪水避難訓練を初めて行います。鬼怒川の氾濫の後に水防法が改正され、全国で新たな洪水浸水想定に基づいて洪水ハザードマップの策定を行うこととされました。新釧路川においては、国が今年、堤防が決壊した際にどのくらいの浸水が起こるかといった浸水想定を策定し、それを受け、市がハザードマップを作成したことから、それに基づいた訓練となります。

（質問）

- ・ 10月22日に衆議院議員選挙が行われますが、市長としてどのように見られていますか。

（市長）

- ・ 報道などで、対北朝鮮の問題でのさまざまな不安や、日米・米中首脳会談の開催などがあり、これらの中で日本がどのような形で進めていくのかという非常に大きな課題があると思っています。

(質問)

- ・ 今回の選挙において、疑惑隠しや大義が無いのではないかとされていますが、市長は理由がある解散だと思いませんか。

また前回の選挙に比べ、所属政党が変わったなど、構図が変わってきていると思います。地元選出の議員との今後の関係など、どのように感じていますか。

(市長)

- ・ 現在の国際情勢や北朝鮮の問題などを踏まえた中での選挙ではないかと思っていますので、それに対しての意見はありません。

市といたしましては、まち・ひと・しごと創生総合戦略や観光立国ショーケース、国立公園満喫プロジェクト、人口減少の問題などをしっかりと進めていく大切な時期ですので、すみやかに進めていくことが重要と考えております。

そのためにも安定した政権運営が好ましいと考えており、そのような基本ベースが整った中で、地方がいろいろなことに取り組んでいける形が大事だと思います。

地元選出議員の方々には、我々の取り組みに対してのバックアップをしていただければと考えています。

(質問)

- ・ 今年は、秋サケやサンマの漁があまり良くないようで、それらに向けた対策などはありますか。

(市長)

- ・ 市として、状況を踏まえながらどのようなことを進めていけるかを、業界とも相談していこうという話をしています。今年は流氷が来てコンブも打撃を受けたので、釧路総合振興局とも話をしていきながら、利子補給という仕組みを作りました。水産都市釧路として、原料の確保ができなければ、大きな課題となることから、懸念されることを想定していきながら、さまざまな準備をし、すみやかに対応していくことを担当課に指示をしています。

(質問)

- ・ 「希望の党」が今回注目を浴びていますが、市長という立場を離れての感想をお聞かせ願いたい。

(市長)

- ・ 直接お会いしたこともないので良くわかりませんが、まさに「政局」という

ことなのだろうと思います。

(質問)

- よく知らないという感じですか。

(市長)

- 新聞等を見ているので、知らないということはないです。
政治や経済というものは常に動いていて、まさに生き物だと思っています。
良いとか悪いとかという問題ではないと思います。

(質問)

- 昨年市長選挙があった際に、自民党、民進党、新党大地の支援があったと思います。今回の選挙において、事務所開きにはお顔を出していますが、応援演説などを頼まれたときは、どのような対応になりますか。

(市長)

- 私の選挙の時は「市民党」という、政党の推薦を依頼しない形の中、多くの方のご支援をいただくことができ、感謝しております。
事務所開きは後援会活動ということで、今までも出席しています。
応援演説は今までも要請はありませんでしたが、要請があった場合は、その時に考えていくことになると思います。